

市町村名	南大東村
------	------

**平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-③	南大東村多目的交流拠点整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-工
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				離島を支える多様な人材の育成
				Ⅲ-9

**事業内容** 村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。

**実施方法**  直接実施  委託  補助  負担  その他 ( )

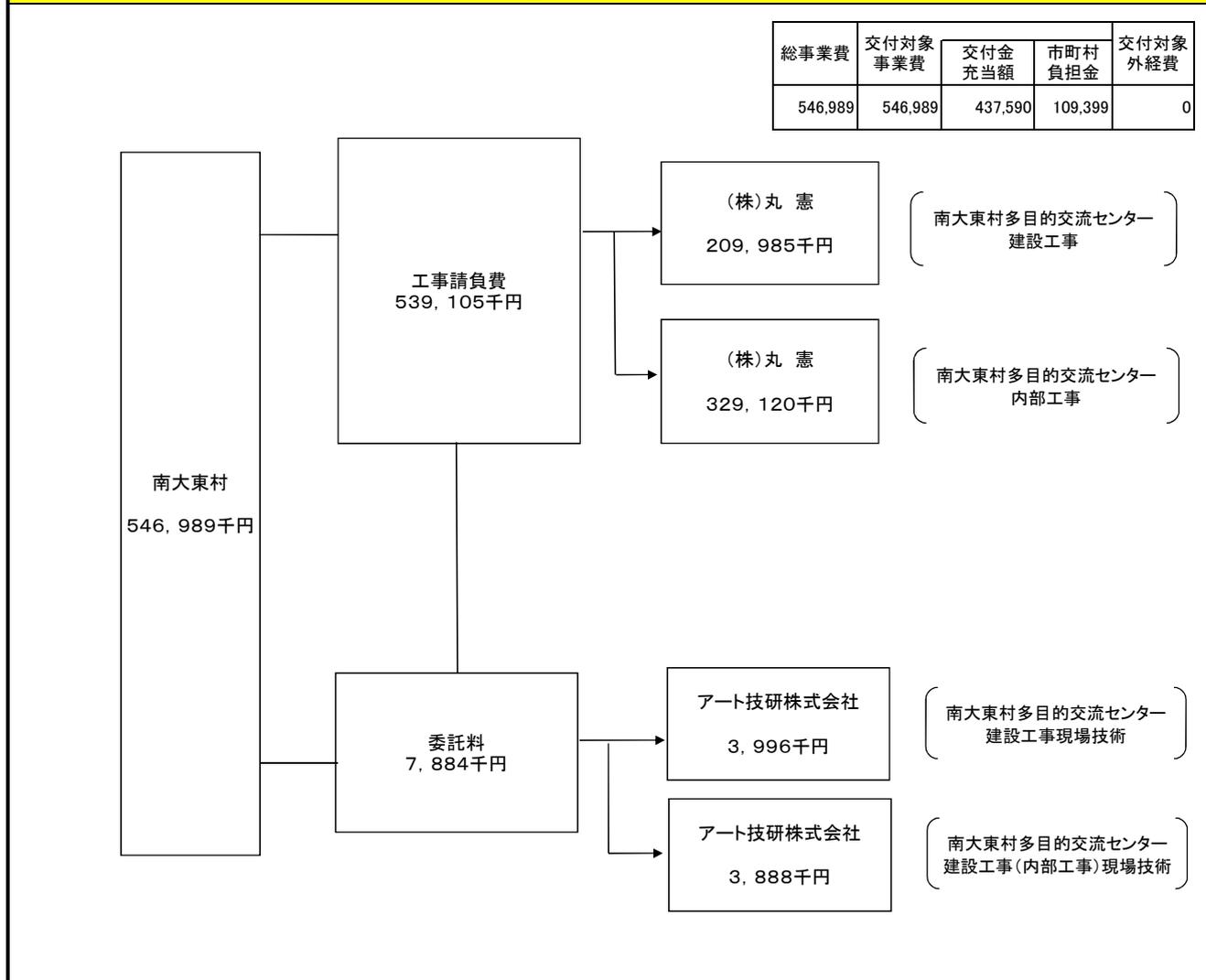
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)
		(a) 当初予算額		82,404		214,152
(b) 予算現額			168,314		547,434	
(c) 増減額(b-a)			85,910		333,282	
(d) 繰越額		26,483		50,954		203,305
A. 計(b+d)		26,483	168,314	50,954	547,434	203,305
B. 執行済額		26,483	117,360	50,879	345,309	201,680
うち交付金充当額		21,186	93,888	40,703	276,246	161,344
次年度繰越額		0	50,954	0	0	0
執行率(%) (B/A)		100.0%	69.7%	99.9%	63.1%	99.2%
予算の状況の説明	平成27年度は、内部工事において全国的な職員不足により島外からの職人確保に不測の日数を要し年度内完了が困難となったことから、203,305千円を平成28年度へ繰り越した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
建築物工事実施	目標	( )	( )	( 建築物工事実施 )	( )
	実績			建築物工事実施	
基本設計・実施設計	目標	( 基本設計・実施設計の実施 )	( )	( )	( )
	実績	基本設計・実施設計の実施			
既存施設取壊解体	目標	( )	( 既存施設解体 )	( )	( )
	実績		既存施設解体		
基礎工事実施	目標	( )	( 基礎工事実施 )	( )	( )
	実績		基礎工事実施		
達成状況説明	平成26年度に既存施設の解体工事を実施し、平成27年度に基礎工事及び躯体工事を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
			建築物工事を完了し、多目的拠点整備を推進する。	( )	( )	( )
基本設計・実施設計	目標	( )	( 基本設計・実施設計の実施 )	( )	( )	( )
	実績		基本設計・実施設計の実施			
建築物工事を完了し、多目的拠点整備を推進する。	目標	( )	( )	( 多目的拠点施設建設への条件を整備 )	( )	( )
	実績			多目的拠点施設建設への条件を整備		
進捗状況説明	平成27年度成果目標の建築物工事において、前年度からの工程遅れ及び工事職人の確保に時間を要したため、内部工事の着手にも影響が及んでしまい平成28年度へ繰越となったが、平成28年度内に建築物工事を完了し、村の多目的拠点施設の整備ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成27年度の建築工事において、東日本大震災で東北地方に労働者が集中している状況で、沖縄県内の職人も被災地に多く出向いていることから、島外からの職人確保に不測の日数を要した。	当初計画より躯体工事が遅れてしまった要因として、当村は建築に係わる専門の職人がいなく島外からの職人に頼るしかないので、その調整に時間を要してしまった。今後は外構工事の整備に遅れが生じないように請負業者との調整を密にして工期を短縮する。
<b>今後の取り組み方針</b>		
平成27年3月末で、躯体工事を終えた。平成28年度に外構工事を行うが、島内にはアスファルト舗装の専門業者無く労働者の手配調整等が必要な為、早めに請負業者との調整を行い平成29年度内に完成を目指す。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事・委託業務の業者選定は指名競争入札により実施しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は1%以内であり適切な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の視点から必要なのか等については額の確定時において検査、確認しており適切であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	